

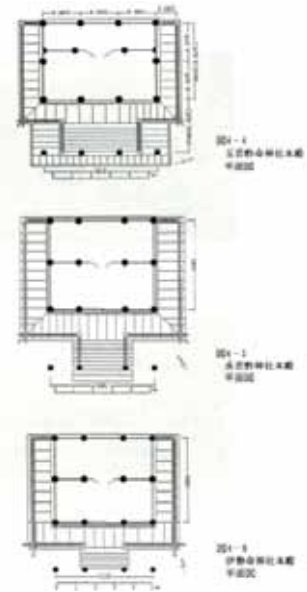
第 56 回建築士会全国大会しまね大会紹介

1) -4 隠岐造りの社と隠岐の風景

隠岐島は大きく 4 つの島からなる隠岐諸島です。本土からは島根県の七類港からと鳥取県の境港港からフェリーと高速船が運航しています。距離は 60~70km ぐらいの航行となりますが、それぞれ 140 分、60 分程度です。航空便も出雲空港、伊丹空港からの便があります。隠岐島は古くは流人の島でした。と言ってもかなり身分の高い天皇クラスの流人がほとんどのようで、それが歴史や習慣、風俗にも影響を残しています。小野篁、後鳥羽上皇、後醍醐天皇などの



の足跡や、祀った神社などがあります。この項では特に隠岐造りと呼ばれる神社を紹介します。左の図は隠岐造りの代表格の一つである水若酢神社です。何だ、大社造りではないかと思われるかもしれませんが、たしかに大社造りの垂流です。右に代



表的な隠岐造りの神社 3 社のプランを並べています。これを見ればお分かりのように横に 4 本の柱が 3 列並び、さらに階(きざはし)が正面中央に付き、その屋根も横一杯を覆っています。このように隠岐ならではの造りに変わり、発展して行った形式です。この 3 社は

すべて島後(どうご)と呼ばれる最大の島にあります。さて、隠岐の特色ですが、神社には相撲が付きものです。隠岐の海という力士が頑張っていますが、隠岐には昔から古典相撲を奉納する習わしがあり、特に遷宮などの時には一夜を明かして催されます。角力場は神社と一体です。そして伊勢命神社などで一夜を明かして舞い踊られる隠岐神楽は、出雲や石見と全く違う独自の形式を持っています。さらに、船小屋、巨木など、隠岐ならではの風景が楽しめます。



玉若酢神社 隠岐の島町



水若酢神社 隠岐の島町郡



都万の船小屋



乳房杉

もうひとつ、闘牛は隠岐の楽しみですが、これについてはまた別の項で紹介します。杉木立に囲まれた素晴らしい自然の闘牛場があるんです。